

大和郡山 防災ニュース 4. 10月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

台風14号が近畿地方接近

「高齢者等避難」(レベル3)発令しました

9月19日夜から20日未明にかけて、台風14号が接近との予報に基づき、奈良県の北部でも暴風などの危険が予測されたため、市から災害警戒のため「高齢者等避難」(レベル3)を発令し、市内各公民館など11箇所の避難所を開設しました。なお、暗くなってからの避難は危険が伴うので、日没前の午後5時20分の発令といたしました。この発令で、4避難所に13名の避難者がありましたが、台風が比較的奈良県に接近した午後10時頃に風雨の危険が認められなかったため、一旦避難情報は解除しました。なお、解除時刻が深夜でしたので、避難者でご希望の方にはそのまま自主避難というかたちで宿泊していただきました。



台風14号及び翌週の15号での奈良県での影響は比較的少なかったのですが、報道されているとおり、九州や静岡などでは大きな被害が発生しています。過去、台風の進路によっては奈良県でも被害が発生しています。しばらくは台風が日本に接近しやすい時期が続きます。

これからも台風情報にはご注意ください、状況によっては適切に避難してください。

台風接近時の開設避難所は基本的に市内各公民館です！

「この前、エリアメールが鳴ったけど、近所の避難所は開いてなかったよ。」というお声をよくお聞きしました。地域における避難計画が浸透してきて、「私が逃げる避難所はここ！」という意識が広がってきているのかな、とも感じています。なお、台風が近畿地方に接近する予報に基づいて早めに「高齢者等避難(レベル3)」を発令するときは、基本的には



「市内の各公民館+城ホールのみを開設」

することとしております。避難所の開設について、ご不明な点がございましたら、市民安全課までご連絡いただきますようお願いいたします。

**今年の「安全・安心の城下まちづくり市民大会」は、
10月14日 午後1時30分～ DMGMORIやまと郡山城ホール**

講演「誰一人取り残さない防災をめざして」

講師 同志社大学社会学部社会学科・教授 **立木 茂雄 先生**

ぜひお越しください！

自主防災組織活動事業費補助金を活用してください！

市では、地域住民による自主防災活動が活発になることを支援するため、市に登録された自主防災組織に対して防災訓練・防災知識の普及・防災資機材の整備などの防災活動に必要な経費の一部を、毎年度1回補助金交付しています。対象となる事業は下記のとおりです。

- 防災訓練にかかる経費—訓練で使用する防災器財・消耗品等の購入等
(飲食費用は対象になりません。)
- 防災知識の普及にかかる経費
—防災研修会や防災リーダー育成講習会の受講費、書籍購入費など
(会場への交通費は対象になりません。)
- 自主防災活動等に必要な資機材等の購入経費
 - 【災害時に情報を取得する、連絡する】
携帯用ラジオ、トランシーバー等
 - 【初期消火のため備える】
消火用バケツ、消火器等
 - 【災害時のさまざまな活動に活用する】
防水シート、シャベル、つるはし、ロープ
カケヤ、土のう、はしご、ノコギリ
ハンマー、ジャッキ、バール、投光機等
 - 【ケガ人や要支援者の避難、救護に活用する】
担架、救急セット、テント、毛布、シート、リヤカー等
 - 【集団で整然と集合し、安全に避難するために備える】
ライト、ヘルメット、メガホン、旗、ゼッケン、腕章等
 - 【災害時の炊き出しなどに活用する】
鍋、釜、コンロ、給水タンク、ガスボンベ等
 - 【災害に備えて備蓄する】
アルファ米、保存食缶詰、備蓄飲料水及び備蓄倉庫等



■補助金の額

- 補助対象経費の2分の1(1,000円未満切捨)
※但し、下記の金額を補助限度額とします

100世帯未満	: 30,000円
100世帯以上300世帯未満	: 40,000円
300世帯以上	: 50,000円

※注1 日常の自治活動に使用するようなテレビ、冷蔵庫、テーブル、イスなどは対象となりません。

※注2 申請には受講料や購入品等の見積書が必要です。申請前に購入等行った場合は、補助金は交付できませんのでご注意ください。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース [検索](#)

発行人 市役所市民安全課